

治安維持法同盟青森県本部は『3・15、4・16大弾圧記念集会』を4月13日に開催する予定です。この記念集会は、国家権力による人々に対する弾圧を許さない、忘れないで語り継ぐこと、また、弾圧の中で反戦と民主主義に生命をかけた闘いと抵抗の歴史を学び語り継ぐことです。

3・15、4・16 大弾圧記念集会

◆とき 4月13日(土) 13時30分

◆ところ アピオあおもり 大研修室

講師 最上健造氏

- ・国賠同盟中央本部副会長
- ・秋田県本部会長

仮題【歴史の谷間の花に光を】

—女性史に闘いと抵抗の歴史を—



No. 597

編集発行人 田中幹夫
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034

東京都文京区湯島2-4-4

平和と労働センター全労連会館内

電話 03-5842-6461

FAX 03-5842-6462

振替 00110-6-97793

定価 50円

青森県版

2024年3月15日発行

第 381 号

〒030-0904

青森市茶屋町11番5号

TEL 017-718-3166

FAX 017-718-3167

青森県本部

◆弘前支部「新春のつどい」で、安藤晴美県議が「辰年は激動の年と言われる」と話されていたが、そんな気配を感じます◆この冬は小雪暖冬で過ぎそうです。一月未から自転車に乗れるというのは、長年生きてきましたが初めてです。雪かきが楽でうれしい一方、激動の予感もしています◆派閥の裏金問題で自民党が大揺れです。説明責任から言を左右に逃げ惑う姿は末期症状の有様です。そもそも国民の税金を領収証もなしで好き勝手に使えるというやり方が大間違いです。自民党の政治家の驕りといしか思えません。しっかりと政治資金も明朗会計にさせることが必要でしょう◆もしも政権交代が実現したら……、アメリカ力の卑屈極まる軍事外交は、時間はかかるかも知れませんがゆっくりと変わっていくかもしれません。辺野古の米軍基地新設や敵基地攻撃能力の保持などの不毛の大軍拡は止まるかも知れません。唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約への参加を国際社会に宣言することでしょう。先の戦争責任を自省し、多大な犠牲と苦痛を与えた国々に謝罪をする。それは国賠運動の願いが実を結ぶことになるでしょう◆そんな激動の年にならないものかと願っています。

(松島)

山毛榉
ぶな

四年振りの 『新春のつどい』開催

国賠同盟弘前支部

二月三日(土)午後二時から、弘前市駅前記念会館和室で、四年振りの国賠同盟弘前支部の「新春のつどい」を行ないました。アルコールなしで紅茶とケーキ、お菓子を用意したところがこれまでとは違うところです。

この日は、「3の日行動」や介護をよくする会総会など行事がいろいろありました。が、十五名の参加者でした。

昨年末、役員の声かけで三名の女性活動家の皆さんが入会を決意してくれ、その大歓迎の思いもあつたことでしよう。役員が描いた大きな岩木山とりんごの絵

の横幕が明るく温かです。

さらにうれしいことに、この場で真ん中世代の男性が入会を決意してくれました。「もう入っていたものだと思っていました。」と言っていました。が、まだ入っていませんでした。

平戸富治支部長挨拶、安藤晴美県議会議員の挨拶の後、皆で「青い空は」と「たんぽぽ」を歌いました。

参加者からの一言では、久しぶりの対面でつどいということで、話が弾みました。新加入された方からは、「国賠の活動は重くて無理だと思っていたが、東北ブ

ロック集会に参加し、入ることになった。」「支部総会での講演がきっかけになった。」「真ん中世代は生活で一杯な人が多いが、学習し対話をして行きたい。」と話がありました。戦争反省について、アジアの人々との友好、歴史に学ぶことの大切さ、国賠運動を一日も早く実を結ばせる必要などなど。皆さんからの一言が終つてみると、ちょうど閉会の午後四時を過ぎていました。

国賠運動に



記念会館和室での「新春のつどい」風景

力を合わせて頑張ろうという思いが広がるつどいとなりました。



Ⅱ再録Ⅱ

今号より「不屈」(青森県版)に掲載された、「治安維持法犠牲者紹介」を順次再録していきます。

この記事は、橋本誠一氏(国賠同盟青森県本部前副会長)の尽力により発掘・研究されたものです。

連載

治安維持法犠牲者紹介

①

松岡辰雄



松岡辰雄は、一九〇四年(明治37)五月十五日、青森市栄町(現阿弥陀寺付近)で誕生。

二〇年(大正9)浦町小高等科卒業後、国鉄に就職。仙台鉄道教習所入所の頃から文学に興味を抱き、卒業と同時に青森鉄道管理局運輸事務所勤務。

二二年(大正11)「黎明」に短歌を投稿。同年九月青森駅車掌。二十二歳で全日本鉄道従業員組合青森支部結成。書記長就任。同時に青森合同労働組合結成に参加(組合長大沢久明)。

二七年(昭2)組合で保留中

の「労働党」支持が、第二回国鉄大会で可決された直後、当局は組合幹部三名解雇。松岡は鉄道従業員大会で首切り反対報告をする。その五日後、不当蹴首される。松岡は、日本農民組合県連の常任書記として活動。

二九年(昭4)日本共産党に入党。四月十五日夜、大沢・堀江、内山等と南郡浅瀬石村での演説会に出席、会は直ちに解散させられ検束される。四・二六事件検挙であった。

三〇年(昭5)二七歳で治安維持法違反で懲役五年。上告棄却で青森刑務所服役。三四年病氣仮釈放。彼は何をしたか。

三七年(昭12)病氣再発し咯血、腸チフスの疑いで病院収容、闘病生活。五五年八月二

三日命を落とす。

労働運動の先駆者の一人。

三内霊園松岡家墓地に

『原生林をぬけ出て妻と朝明

かき月沼のべに山手櫓(ふな)

の実を喰む』の墓碑が、娘

田鶴子によって建立された。

浅虫のフィールド・アスレ

チック内に盟友大沢久明揮こ

うの歌碑

エッセイ

私が出会った子どもたち……

⑥3

いじめてしまった

お母さんが悲しんでいるのだ、あやまらなくては

教育厚生会・親と子の相談室 工藤ふみ

今から40年ほど前、私が「生活綴り方」の教育実践を始めた頃でした。小3の学級の子ども達は、楽しい日記をたくさん書いてくれ、私は、学級通信や学級文集を発行し、子ども達と読み合い、子どもや保護者と繋がっていると思っていました。そんなある日、

由紀さんのお母さんから、由紀がいじめを受けているという手紙を貰いました。子ども達と私宛てでしたから、子ども達にも読んでやり、文集として配りました。子ども達は静かに聞き、自分のしたこと話を話しました。

学級で話し合っている時、子ども達は次々と席を立ち、由紀さんに謝りに行きました。でも、越川さんという子は由紀さんに謝りに行きませんでした。私は不思議に思っていました。その日の日記には、自分がひどいことをした事と由

『餓うるともこの信念にそむかされ今あかあかと燃ゆる夕空』が昭四十六年八月建立除幕された。



